



日本一人口の多い村 よみたんそん

# 議会だより

2016年9月  
67号 定例議会

平成28年6月末現在  
（回41,282人）



題字を書いてみて  
始めて筆を横字を  
書きました。ハラン  
しかつたのがむずか

題字：奥田華ニコール  
（古堅南小学校5年生）



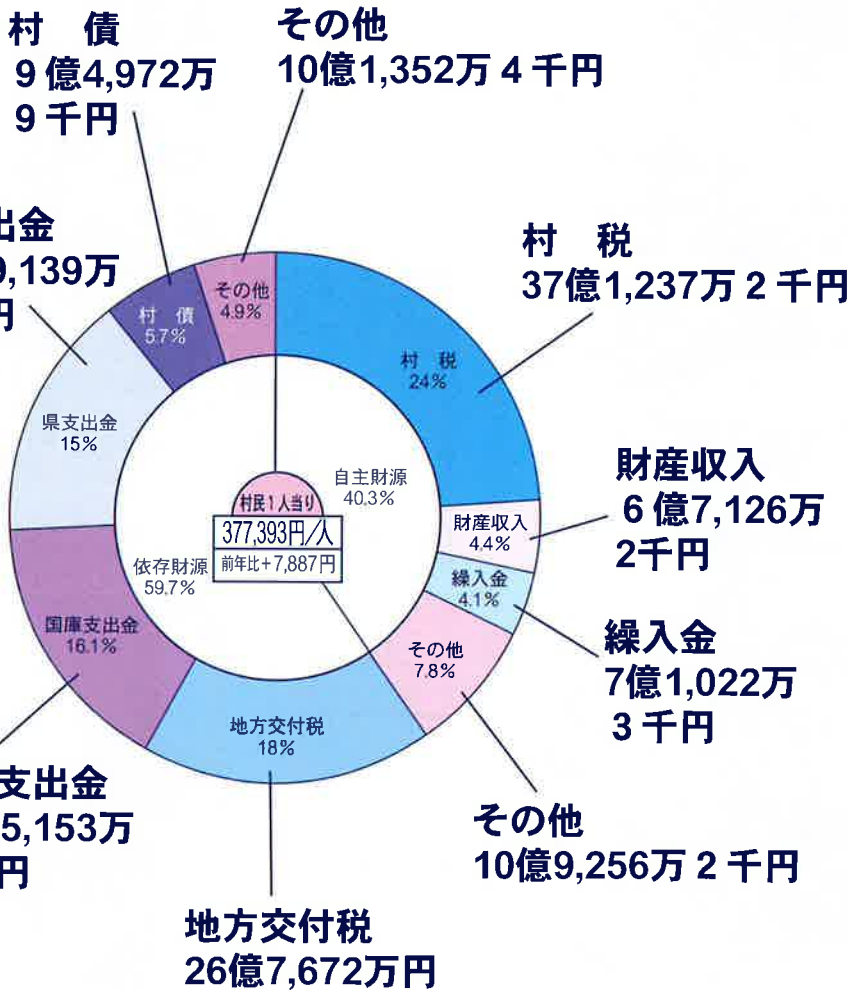
The Worldwide Yuntanzanchu Festival 2016 in Yonitan  
世界のユンタンザンチュ歓迎しセッション  
めんそーれ！

よみたんまつり会場へ 世界中から集まったユンタンザンチュ125名の皆様

# 一般会計決算

# ように使われました！

## 歳入 153億6,932万円



平成27年度の歳入決算については、予算現額163億7千262万5千円に対し、決算額は153億6千932万3千円で予算現額に対する収入率は93.9%となっている。対前年度比較で収入済額で3億5千926万2千円（2.4%）の増になっている。

村税は、歳入全体の24.2%を占め、決算額は37億1千237万2千円で前年度より1億793万8千円（3.0%）の増となっている。また、収入未済額も2億2千925万8千円で前年度比較で5千500万5千円（19.4%）の減になっている。

歳出決算については、予算現額163億7千262万5千円に対し、支出済額は147億6千542万2千円、翌年度繰越額14億7千230万5千円、不

用額1億3千489万8千円で執行率は90.2%となっている。

本年度の「実質収支に関する調査」によると、実質収支額は3億7千647万4千円の赤字になっていて、これから前年度実質収支額を差し引いた単年度収支は2千46万2千円の赤字となっており、現段階においては健全財政といえる。

経常収支比率は財政構造の弾力性を示す指標とされる。本年度の比率は81.2%で前年度より2.8ポイント低くなり良好化している。しかしながらこの比率は町村にあっては70%程度が妥当とされ、75%を超えると注意を要するとされる。

平成28年3月末日  
 人口：40,725人

**歳入・歳出**  
 4月1日から翌年3月31日の一年間を「会計年度」という。この会計年度におけるすべての収入を歳入といい、全ての支払いを歳出という。

**自主財源**  
 村が自主的に収納することができる財源。財産収入、固定資産税、村民税など。

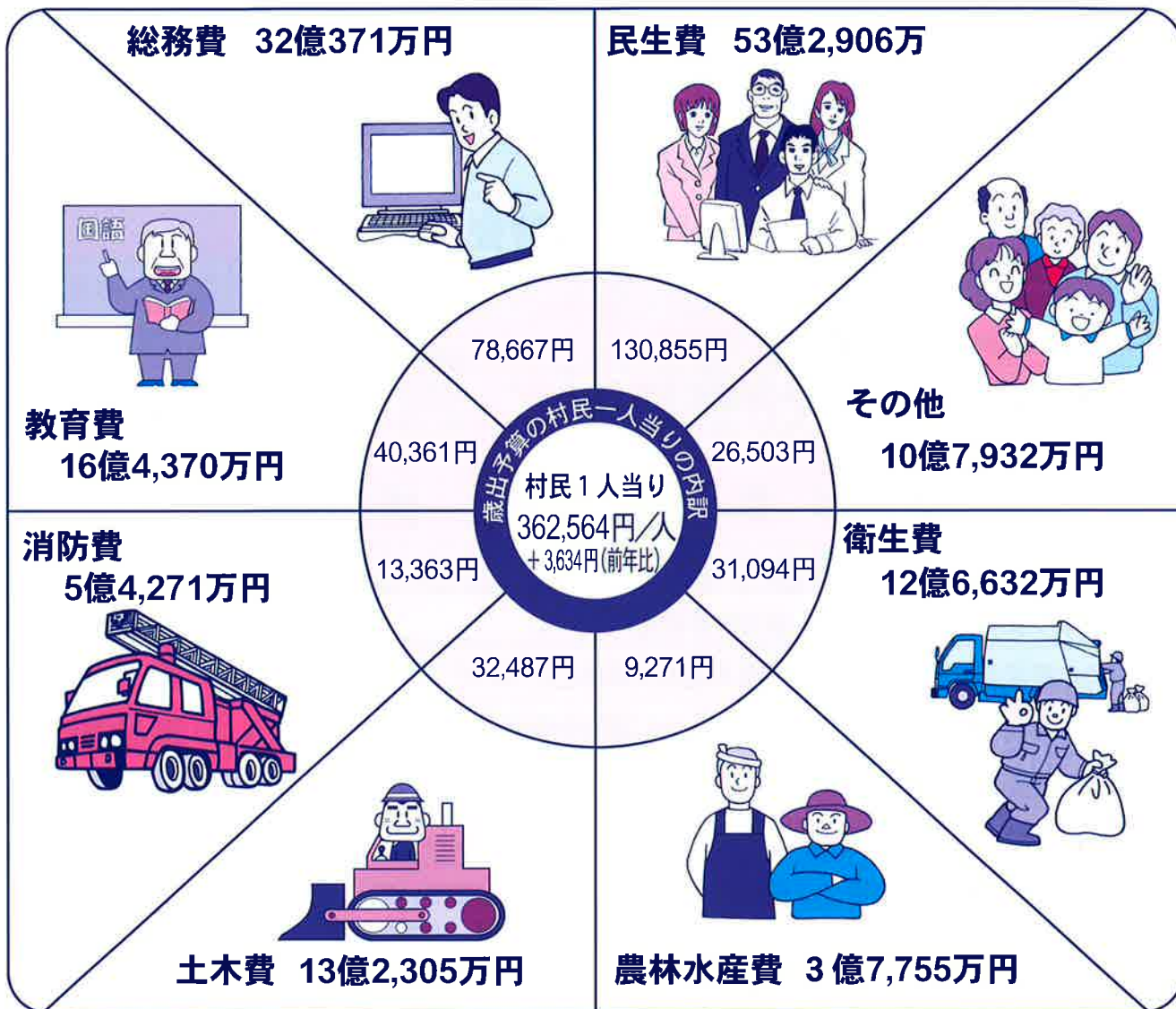
**依存財源**  
 国や県から割り当てられる補助金や交付金

**実質収支額**  
 歳入歳出差引額（形式収支）から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

**経常収支比率**  
 比率が低いほど臨時的経費に充当できる一般財源に余裕があることになる。一般的に70〜80%が適正。90%を超えると財政硬直化。

# 私たちの税金 この

**歳出 147億6,542万円**



## 平成27年度特別会計決算

平成27年度読谷村診療所特別会計決算 238,730,448円

平成27年度読谷村国民健康保険特別会計決算 6,464,424,601円

平成27年度読谷村後期高齢者医療特別会計決算 363,573,482円

平成27年度読谷村下水道事業特別会計決算 406,963,708円

平成27年度読谷村水道事業会計決算 911,123,485円

## 平成28年 第451回 臨時会 議決結果

件 名	議 決 結 果
平成28年度 村道波平～都屋線整備工事請負契約について	可 決
平成28年度 比謝川大橋耐震補強工事請負契約について	可 決
読谷村公共下水道（雨水）工事第6処理分区（284工区）請負契約について	可 決
（仮称）新読谷村立歴史民俗資料館建築工事請負契約について	可 決
（仮称）新読谷村立歴史民俗資料館電気設備工事請負契約について	可 決
（仮称）新読谷村立歴史民俗資料館機械設備工事請負契約について	可 決

## 平成28年 第452回 臨時会 議決結果

件 名	議 決 結 果
平成28年度読谷村一般会計補正予算（第3号）	原案可決
平成28年度読谷村下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決

## 平成28年 第453回 定例会 議決結果

件 名	議 決 結 果
平成27年度読谷村一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
平成27年度読谷村診療所特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
平成27年度読谷村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
平成27年度読谷村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
平成27年度読谷村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
平成27年度読谷村水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決 及び認定
平成28年度読谷村一般会計補正予算（第4号）	原案可決
平成28年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
平成28年度読谷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
中部広域市町村圏事務組合の規約の変更について	原案可決
物品供給（ICT機能強化事業（中学校電子黒板等ICT機器一式購入））契約について	可 決
座喜味城跡地すべり災害復旧工事（Bブロック）請負契約について	可 決

※5ページに続く

平成28年 第453回 定例会 議決結果

件 名	議 決 結 果
物品供給（平成28年度読谷村体育施設運営事業（スポーツコンベンション誘致促進事業：設備強化事業））契約について	原案可決
平成27年度沖縄県町村土地開発公社事業及び決算の報告について	原案可決
平成27年度読谷村健全化判断比率の報告について	原案可決
平成27年度読谷村下水道事業特別会計資金不足比率の報告について	原案可決
平成27年度読谷村水道事業会計資金不足比率の報告について	原案可決
<b>宣言</b> 飲酒運転撲滅のさらなる推進に関する決議	原案可決
沖縄鉄軌道構想の「ルート案」決定に対する意見書	原案可決
米海兵隊のAV-8ハリヤー戦闘攻撃機の墜落事故に対する抗議決議	原案可決
米海兵隊のAV-8ハリヤー戦闘攻撃機の墜落事故に対する意見書	原案可決
村内小・中学校の教職員ならびに児童・生徒が生き生きと活動できる環境の改善を求める陳情について	一部採択
トリー通信施設返還軍用地跡地（大木・大湾地区の飛び地）における問題解決（跡地利用計画推進等）への支援に関する陳情	継続審査
子どもの貧困対策にとりくみ、よりよい教育環境整備を求める陳情	継続審査
「幼稚園・就学前教育」義務教育化・無償化に関する陳情	継続審査
トリー基地における統合計画容認の賛否を問う住民投票条例を制定することについて	継続審査
閉会中の継続審査及び調査申出について ・文教厚生常任委員会 認可外保育園の現状調査 ・議会運営委員会 陳情第2号 要請書 住民投票条例の制定について	決 定



『交通安全母の会』と読谷村議会議員による宣言！

Q 村政を問う!! 一般質問



長濱 宗則

公立保育所の民営化を!!

問 公立保育所の使命とは

答 児童福祉法により、市町村は保護者の労働又は疾病その他の事由により、その監護すべき乳児、幼児その他児童において保育を必要する場合において保育しなければならない。

問 読谷村の保育所民営化計画の有無

答 3 村立保育所の正規職員3割、県の指導は6割が適切であり、対応しきれていない、北保育所の老朽化の建て替え費用3億円。

再 公立保育所の2園を民営化に移行の検討する考えはないか

答 一つの課題として読谷村立保育所、幼稚園の整備及び運営に関する検討委員会での議論をしていく。

就学支援を考える

問 読谷村における小中学

校の要保護、準要保護の対象児童数は

答 平成28年9月5日現在、要保護小学校32名、中学校23名、準要保護、小学校326名、中学校171名。

問 準要保護の認定基準と援助費用は

答 ①生活保護法に基づく保護の停止又は廃止 ②市町村税の非課税 ③生活状態が極めて悪い ④経済的理由で欠席数が多い。援助費用は「新入学用品費」「学用品」「通学用品」「学校給食費」「郊外活動費」「修学旅行費」等

問 読谷村の就学支援が県平均の20.9%より低い10.5%と低いその見解は

答 就学援助の対象となるにも申請を行っていない対象者がいると考える、潜在的な対象者に周知が課題である。途中申請も受け付ける。

問 読谷村の進捗状況は

答 平成28年4月1日より、子どもの貧困対策支援員1名配置し調整、相談業務を行っている。居場所の運営

問 読谷村独自の貧困調査の予定は

答 調査を实地している市町村の状況を確認しながら、今後検討する。

読谷村地域振興センターの活用を

問 チャレンジブースに応募が少ない理由は

答 施設見学の際、施設に対し要望があり改善できるものは早急に改善、対応している。

問 旧読谷村商工会跡地利用計画は

答 現在検討中。

社会教育団体の取り組み

問 読谷村婦人会、青年団協議会、子ども育成連絡協議会、PTA連合会の組織の課題と支援の取り組みは

答 会員の減少と、会運営の弱体化である。支援の取り組みは、年2回、社会教育団体の合同ミーティングや合同研修会を開催している。

読谷村の6次産業

問 読谷村の6次産業化の政策は

答 第1次が基幹産業であるので、県をはじめJA等関係団体と連携し農家などへの営農向上支援や、地産地消など流通、販売支援を行っている。

交通安全の観点から雑草は除去した

問 ローヤルレストランの北十字路より楚辺5号線の道路は雑草により交通妨害になっている。その対策は

答 業者に依頼してみだしの通り除去した。村内における道路の雑草による交通妨害の調査や対策は職員による巡回や村民からの連絡を受けて適宜対策をしている。

非正規の保育士の待遇改善については民間や近隣市町村の状況を調査する

問 保育士の給与について正規職員と嘱託職員の月額平均給与はいくらか

答 正規職員が約22万3千円、嘱託職員が約18万3千円である。

問 保育士確保に向けて、石垣市では再就職準備費などで40万円を支給するとか



完成した地域振興センター



上地 榮

本村も「飲酒運転根絶に関する覚書」を嘉手納警察署とついに締結(9月20日)

問 本村における過去10年間の酒気帯び及び酒酔い運転の検挙件数とその対策は

答 過去10年間で81人が検挙され、ワースト順位は11位である。対策としてはみだしの通り、嘉手納警察署との締結を踏まえ、職員から飲酒運転根絶に関する教育を積極的に行うとともに、村民に対しても飲酒運転根絶活動に努める。



交通妨害になっている雑草群

中城村及び竹富町でもその方策を考えているが、本村の取組みはどうなっているか

**答** みだしの通り調査を踏まえ、待遇改善について検討していく。

**本村の一括交付金の過去4年間の平均執行率は97%（県平均は67%）**

**問** 一括交付金の過去4年間の執行率を問う

**答** 平成24年度97%、平成25年度89%、平成26年度97%、平成27年度99%である。

**問** 国の「基地問題の進捗が沖縄関係予算に影響する」という「リンク論」に対する村長の見解は

**答** 国はこれまでリンクしないとされており、ここに至る事については、誠に残念で遺憾である。

**マイナンバーカードの現状と課題について問う**

**答** 平成28年8月末における通知カードの交付数1万6千210件、個人番号カードの申請者数は2千49人で、交付数は1千406人である。平成29年7月から情報連携が始まる。

**戦後処理係の設置と専従職員の配置について**

**問** 4月の機構改革により飛行場所有権回復地主会との窓口の跡地利用推進係がなくなっているが

**答** 企画政策課が窓口になる。昭和18年に国を守るという大義の下、時の読谷村役場（知花清元村長）で移転補償費や農作物補償費が支払われるなど村の協力体制により当該用地は国に接収された。旧地主に土地が返るまで村の責任があると思うが村の見解は

**答** 実施計画にあるとおり旧地主関係者で構成する農業生産法人に払い下げる予定である。



仲宗根盛良

**自治会公民館の建設を問う**

**問** 宇座自治会から建設の要請が提出されているが、関係課における進捗状況を伺いたい

**答** 企画財政課において沖縄防衛局と事業化に向けた事務調整を行っている。

**問** 自治会所有の現在敷地を売却し、財源充当を考えている。用地も村が購入して整備すべきと考えるが

**答** 直ちにということはありませんが、一緒に検討していきたい。

**問** どの助成事業が活用可能か。導入年度の見通しは。

**答** 防衛による民生安定助成事業を予定し、沖縄防衛

局との進捗状況による。

**問** 何年後を目処に新自治会活動に移行できるか

**答** 模索・検討中である。



改築予定の現 宇座公民館

**給与条例等の改正**

**問** 村長、議員、非常勤の特別職の給与条例は、議員を個別の条例にできないか

**答** 議会と意見を交換し検討したい。

**問** 県外旅費は打ち切り旅費として規定されており、実費に改正できないか

**答** 県内市町村の状況も調

査し、検討したい。

**村道楚辺座喜味線のローヤルレストランから旧飛行場向け200mの区間の簡易歩道の設置を!!**

**問** 陳情の採択から一年余も経過し、歩道の設置が遅れているが、その理由といつまでに設置可能か

**答** 民有地への電柱移設に時間を要し、平成28年12月末までに完成の予定。

**新庁舎への移転から20年目になる記念事業を**

**問** 基地の中に新庁舎を建設してから20年目を迎える。この間をどのように総括し、これからの新展望は

**答** 米軍基地の中に役場庁舎を建設できたことは、本村の歴史に刻まれる大事業である。今後は、周辺に地域情報センターや屋内ドームなどを整備していく予定。

**問** 基地闘争の成果を村民と共有し、内外にアピールする意味からも記念事業の計画はできないか

**答** 検討していきたい。

**読谷村地域振興センターでのイベント活用**

**問** チャレンジブースの活用状況はどうなっているか

**答** 2店舗が営業を開始。

**問** 地域振興センターを核としたイベントの開催計画はできないか

**答** 地域振興協議会で開催に向けて検討したい。

**立看板の設置**

**問** 「日米地位協定の改定」に関する立看板を各自治会ごとに設置することはできないか

**答** 調整していきたい。



新垣 修幸

**村議選挙において安  
全で安心な村づくり  
は警察署の実現と夜  
間の緊急対応可能な  
総合病院の誘致と訴  
えてきた**

**問** 平成26年9月定例会に於いて総合病院の誘致促進をと提起した。その後の動

向を伺う

**答** 平成28年6月28日に沖縄県中部保健所長宛て「読谷村における民間病院設立趣意書」を提出、8月15日

中部市町村会長宛て、読谷村北谷町、嘉手納町、恩納村

の中部西海岸4町村連名による「読谷村における民間病院設立に関する要望書を提出」。

**問** その内容は

**答** 西海岸地域には救急病院がないということ。

**問** 中部市町村会長宛に提出したことは審議をし、決定決定後県に具申するということか

**答** その通り、8月に審議がなされたと伺っている。

**問** 今後の取り組みと決意を伺う

**答** 中部8市町村会の連名で要請文提出、県で議論が行われると思っている。執行部も議会も一丸となつて誘致を達成したい。

**問** 読谷村に警察署の設置促進を提起したが、以後の動向を伺う

**答** 警察本部へ問い合わせたところ嘉手納警察署の建かえ計画は現在のところ予定はないとの回答であった。警察署の立地条件や建てかえについては、人口、事件等の発生件数、警察署の築年数及び老朽化の進行状況などを勘案し、決定される

**問** 嘉手納警察署は築何年か(内容的には2ヶ年前と同じ)

**答** 嘉手納警察署より古いのが宜野湾、糸満、名護、石川署というふう聞いています。築年数は確認していません。

**問** 調査してありますので申し上げます。糸満署が1978年3月29日に竣工で、築38年、糸満南小学校跡地に用地確保ができたという情報がある。宜野湾署1979年7月31日、築37年、嘉手納署が1983年3月21日、築33年となっている。村民が安心・安全で暮らせる、人口日本一の村に誘致促進をすべき

**問** 読谷村の安全、安心、どうあるべきかを考え慎重に対応していきたい。

**問** 国土交通省においても、低所得者向けの住宅に空き家を活用し、家賃を補助する方針が示されていると聞くがその対応は

**答** 「新たな住宅セーフティネット検討小委員会」が中間とりまとめをしており、今年度内に最終取りまとめをすることになっている。政府のとりまとめに留意し、読谷村における方向性を検討したいと考えている。

**問** 住宅困窮者への公営住宅並みの住宅供給は急務と考えるが、安心しての子育てや、子ども貧困問題とも絡んでくると思われる。

**答** 読谷村は旺盛な財政需要があり、事例調査と制度の検討を合わせて検討したい。

**問** 読谷村の現状を考えると、非常に厳しい状況がある。たぐさんの選択肢の中で家賃補助等々も、考えられると思っている。

**問** 全体計画(北部地域を除く)の完成時期をおよそ平成40年としている、その理由は

**答** 平成2年度に事業着手し、当初は平成30年度を計画目標年度としてスタートした。



中部の救急救命センター



比嘉 幸雄

**住宅困窮者対策**

**問** 公営住宅入居希望者の人数を把握しているか

**答** 今年度は26名の応募者がございました。

**問** 民間の賃貸アパート等の空き家状況を把握しているか

**答** 読谷村の空き家は約100世帯。

**問** 空き家対策の先進地視察調査を行ったことがあるか

**答** 先進地視察は行っていない。

**問** 国土交通省においても、低所得者向けの住宅に空き家を活用し、家賃を補助する方針が示されていると聞くがその対応は

**答** 「新たな住宅セーフティネット検討小委員会」が中間とりまとめをしており、今年度内に最終取りまとめをすることになっている。政府のとりまとめに留意し、読谷村における方向性を検討したいと考えている。

**問** 住宅困窮者への公営住宅並みの住宅供給は急務と考えるが、安心しての子育てや、子ども貧困問題とも絡んでくると思われる。

**読谷村の公共下水道の現状**

**問** 全体計画(北部地域を除く)の完成時期をおよそ平成40年としている、その理由は

**答** 平成2年度に事業着手し、当初は平成30年度を計画目標年度としてスタートした。

**問** 全体計画(北部地域を除く)の完成時期をおよそ平成40年としている、その理由は

**答** 平成2年度に事業着手し、当初は平成30年度を計画目標年度としてスタートした。



土地区画整備事業との兼ね合いや全体の進捗状況等も勘案し、計画年次目標を変更した。

### 陸上競技場周辺の現状

**問** 村道親志く波平線と国道バイパス交差点陸上競技場入口は、トンブロック等で封鎖されている。いつまで封鎖されるのか

**答** 公安委員会との交差点協議により、信号機が設置されるまでの間は、安全のため交通遮断するよう指示がある。

**問** この交差点道路照明が点灯していない

**答** ご指摘は確認させていただきたい。

**問** 陸上競技場の専用駐車場整備時期は

**答** 村道工事と同時に駐車場も整備したい。

**問** 身体に障害がある方々にとって、現状の競技場は不便すぎるが

**答** 正面側に北駐車場を防衛の財源確保で予定している。

### 国道58号喜名交差点の安全対策は

**問** 喜名交差点の信号機は名護方面からの右折時、時差式点灯や矢印表示でないため、進行できない。危険除去を関係機関に要請できないか

**答** 実際に事故が起こっている事から、嘉手納警察署と調整・協力し、要請していく。

**問** この交差点、嘉手納弾薬庫に抜ける小道がある。

この小道は軍用地が黙認耕作のため、耕作者がよく利用しているが弾薬庫側からは信号機がなく危険である。早急な交差点改修を求めたい

**答** 現状の把握と聞き取りの中で協議をしていく。



危険な国道58号喜名交差点



山城 正輝

### 村立保育園、民営化検討!

**問** 民営化計画の有無について「どちらともいえない」とアンケートに答えているが真意はどうか

**答** 平成28年8月30日、検討委員会を開催し、検討を始めている。その後、パブリックコメントを得る。

### 幼稚園学級担任の正職員化を検討!

**問** 村内幼稚園の学級担任を嘱託職員から正職員に切り替えるべきではないか

**答** 15名が嘱託である。正職員と嘱託職員は、同一職務内容である。正職の月給は、平均23万8千円で、嘱託職員は、18万5千円である。正職員には、年2回の賞与もある。教育委員会としても正職員化が望ましいと考

### ダイオキシン除去工事、1千900万円!

**問** 旧読谷飛行場跡西側、ダイオキシン除去対策の進捗は、どうなっているか

**答** コンクリート張り工事は9月23日に現場説明し、順次入札を行う。1900万円の工事費について国県との交渉は行っていない。抜本的対策のための特別チーム設置は、現在、庁内検討中。村長Ⅱ米軍基地として提供されていた時の事であり、引き続き国に要請する。稲田大臣にも申し上げた。

えており、検討していきたい。連携し、実現に向け、取り組んでいく。

### 住宅リフォーム助成、経済効果約53倍!

**問** 平成27年度は、村助成9万5千円で総工事費約5百万円。今年度の事業の進捗は、どうなっているか

**答** 今年度工事目標件数は10件。9月15日現在、アクセス17件、申し込み2件。

### 旧読谷飛行場跡所有権回復は、農業法人と旧地主関係者との間で!

**問** 旧飛行場用地の旧地主関係者分7割と公共分3割の面積はいくらか。旧地主関係者への引き渡しは、どうなるのか

**答** 7割は、約177.8ha、3割は、約75ha、農業法人への用地払下げは、認定農業者の資格を得た後、受ける力がついた時である。旧地主関係者への払い下げは、農業法人との間で行われる。

### 国道バイパス内座喜味里道付け替え、検討中!

**問** 道路中員と勾配が問題、残地ハブ等対策をどうする

**答** 現地で関係者と協議、設計の一部を持ち帰り再検討。再検討の遅れに対して村が申し入れる。



戦後71年  
いまだに旧地主へ  
1坪も戻らぬ旧読  
谷飛行場跡地



國吉 雅和

### 新設3認可保育園

**問** 平成29年4月より開園する3認可保育園について

**答** わかたけ第2保育園(仮称)は字古堅に建設中で90人定員です。わらび保育園(現すこやか保育園)は字波平に建設中で90人定員です。ふれ愛保育園は字比謝の現在地で80人定員。

**問** 園児ひとり当たりの村財政負担額(運営費)は

**答** 認可保育園の園児は約22万円で、村立保育所の園児は約109万円。

**問** 認可保育園での多様な保育ニーズの取り組みは

**答** 村立保育所同様に、障がい児保育、一時預かり保育等を実施していく。

**問** 村の待機児童解消計画は

**答** 平成30年度までに解消をめざす。

### 旧読谷中学校運動場跡地活用

**答** 学校法人こぼと幼稚園より園舎の老朽化と学童児童の増加で、手狭であるので移転の要望を受け、貸付の可否については、利用している団体や地域住民への影響等、利用上の課題を勘案し結論づけたい。

**問** 平成24年〜28年までの一括交付金を活用したスポーツコンベンションと観光関連産業の取り組みは

**答** 約22億4千万円(一括交付金全体の約65%)で主な事業は、大型定置網漁船購入・J・O・H・O発信事業・残波いこいの広場グラウンド(ボールパーク)整備・平和の森球場整備・地域振興センター整備事業等

**問** 両事業の効果と課題は

**答** スポーツキャンプは、6団体から15団体と増加傾向にあり、述べ人数で156泊約5千300名の宿泊。課題は、キャンプ期間が集中しており、新たなチームのキャンプは断らざる負えない状況だが、スポーツキャンプ地のメッカとしての知名度を高めていきたい。

**問** 在宅医療に関する村民アンケート調査について

**答** 在宅医療を希望する回答は7割を超えているながらも、実現は難しいとの回答は4割。認知症になった場合は、住み慣れた自宅や地域で医療介護のサポートを受け暮らし続けたいが5割。自宅で最期を迎えたいと希望する回答は5割。

**問** アンケート調査結果からどのような課題が把握され、村診療所運営に活かすのか

**答** 老後も安心して地域で暮らし続けたいが、実現は難しいのではと不安を抱えている声や寄せられている。この不安要素を取り除くには、村民の在宅医療の理解を深

### 在宅医療7割が希望

**問** アンケート調査結果からどのような課題が把握され、村診療所運営に活かすのか

**答** 老後も安心して地域で暮らし続けたいが、実現は難しいのではと不安を抱えている声や寄せられている。この不安要素を取り除くには、村民の在宅医療の理解を深

**問** アンケート調査結果からどのような課題が把握され、村診療所運営に活かすのか

**答** 老後も安心して地域で暮らし続けたいが、実現は難しいのではと不安を抱えている声や寄せられている。この不安要素を取り除くには、村民の在宅医療の理解を深

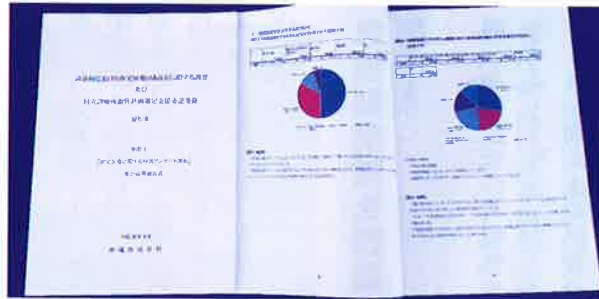
**問** アンケート調査結果からどのような課題が把握され、村診療所運営に活かすのか

**答** 老後も安心して地域で暮らし続けたいが、実現は難しいのではと不安を抱えている声や寄せられている。この不安要素を取り除くには、村民の在宅医療の理解を深

**問** アンケート調査結果からどのような課題が把握され、村診療所運営に活かすのか

**答** 老後も安心して地域で暮らし続けたいが、実現は難しいのではと不安を抱えている声や寄せられている。この不安要素を取り除くには、村民の在宅医療の理解を深

めることが課題であり、公立診療所のあり方を議論していく。



読谷村の在宅医療を考える

### 救急病院構想に財政支援もあるのか

**村長** 財政支援は考えていない。誘致する立場として、村有地を当面無償で貸していきたい。

### 平成28年度施政方針



神谷 嘉栄

**問** 瀬名波通信施設跡地の瀬名波区土地改良事業の進捗状況を伺う

**答** 農用地地区については事業同意作業が進められており、同意率達成に基づいて地区決定を行う。また非農地設定のための同意作業等も併せて進めているので平成29年度採択を目指す。

**問** 6次産業的農業を推進するために、村はどのような農業指導をする考えか

**答** 土地改良事業が進むと営農環境に優れた圃場が完成することから、適地適作の地域特性にあつた品目を選定するとともに、作物のブランド化による付加価値が得られる収益性の高い農業を目指す。また対象地区で営農をする農家や農業生産法人などに対しては、ハウス設置事業や6次産業化等の国事業に対する制度説明や加工品開発を希望する方には、関係機関と連携して支援に努める。

### 平成28年度子ども議会

**問** 事業完了は何年を予定しているのか

**答** 毎年予算規模、埋蔵文化財の試掘状況等の条件があるため一概には明確にできないが、直近の読谷西部土地改良区の事業は事業採択より完了まで9年の期間を要した。

**問** 今回の子ども議会をどう評価するか

**答** 読谷村子ども議会の実施にあたり、(1)将来を担う中学生が、自分達の読谷村に理解を深め、郷土愛を育む。(2)村づくりに対す

る関心を高め社会を動かす力を磨く。という目標を設定し、1年近くの研修を経て開催に至ったが、当日の堂々とした質問と提案に研修の成果が表れていると思う。

**瀬名波ガ―海浜の管理**

**問** 瀬名波ガ―海浜は、瀬名波地域の住民は毎年定期的に清掃作業をしている。また海岸保全のために流砂対策を検討する必要性がないか、県に現状調査と対策を要請すべきとおもうが村の考えを伺う

**答** 該当海岸は、沖縄県の管理する海岸であり、瀬名波自治会を含む複数のボランティア団体により清掃が行われていることに対し継続してごみ袋や軍手の支給等を行い、また流砂については、どのような対応方法があるのか、県に問い合わせているところであり、回答を待つて調整する。

**問** 瀬名波ガ―とその周辺

は歴史的にも文化財的にも保全すべき場所だと思おうが村当局の考えを伺う

**答** 瀬名波ガ―は、かつては飲料水、それから若水や産水が汲まれており、自治会では水の恩恵への拌みが行われている。周辺の海蝕洞窟含め大切にしたい場所である。



瀬名波ガ―へと続く坂道の草刈り作業



津波古菊江

**古堅南小学校運動場の土ほこり対策の進捗状況は**

**答** 村道側に農業用ネット約50mの設置と運動場周辺に39本の植樹をしており、今後同様の設置と散水栓を設置していく。

**問** 西側の対応策は

**答** 早期設置を目ざして予算の調整をしている。村道28号線の道路拡張工事による周辺地域の住環境に影響がない様にしていく。

**長浜地区運動広場、古堅南小学校運動場の防球ネットや屋根つきベンチ設置**

**答** 長浜地区運動広場の

件については他施設との優先順位を鑑みて検討していく。古堅南小学校の防球ネットの補修については学校側に確認の上、緊急性を鑑みながら具体的な対応について検討していく。

**問** 長浜地区運動広場に防災を兼ねた屋根付きベンチ(災害時かまどベンチ)の設置をし、防災訓練の研修場所としての活用は出来ないか

**答** 当広場は一時避難場所であり、長浜地区は広域避難場所の座喜味や高志保公民館、読谷小学校等への移動となるので防災組織と相談して検討する。

**診療所運営の課題は**

**問** 村内の病院は何ヶ所で夜間診療や休日診療をしている病院の数と村民アンケートの結果は

**答** 病院は12ヶ所、夜間診療は2ヶ所、休日診療(土

曜日の夜間と日曜日の午後)夜間診療病院は無いが、村民の声としては希望する意見がある。

**問** 介護事業、リハビリ診療在宅医療を実施している病院は何ヶ所か

**答** 介護事業4ヶ所、リハビリ科2ヶ所、在宅医療6ヶ所、在宅療養支援病院は連携型(村外の病院と連携している村内病院)が2ヶ所単独型は村診療所1ヶ所の合計3ヶ所である。在宅療養を希望する村民アンケートでは7割超だが現実的には難しいとの回答もある。

**問** 急性期病院が設立されると診療所の構想はどうなる

**答** 急性期病院は在宅医療の後方支援として必要不可欠である。高度な専門医療機器での治療や急患等搬送時間の短縮が可能になる。

**問** 村立診療所が築39年となり移転か建て替えの検証、

検討の時期となるが維持管理費、診療収入、医師の継続確保等々医療体制の充実が懸念されるが村内の3在宅療養支援診療所と役場包摂行政との連携は出来るか

**答** 医師の確保の課題は数年に1回必ず出て来るが医療サービスを止めない様検討していく、村内クリニック間の連携も地域包括ケアシステムには必要である。



築39年の読谷村診療所



城間 勇

第9回村民との意見交換及び議会報告会より

ていた施設は、生涯学習課で図書室として利用することが決まっている。会議室についても庁舎内の中で常に相談室として使えるようなところがなく、会議室を確保するのも結構大変な状況である。前もって連絡があれば協力しながら確保に努めていきたい。

**問** 人口割で7人の定数がある人権擁護委員が1人欠員となっているが、人口が多く委員が多忙のため早目の委員補充を求めたい。

**問** 国道58号から嘉手納弾薬庫向け沖繩市までの沖繩、読谷横断道路を早く開通できないか

**答** 人権問題に関する専門知識がある方や熱意がある方、人権擁護に理解のある方など、適任者の確保に努めていきたい。

**答** 中部地域における東西間のネットワーク形成により、観光、産業、緊急輸送体制など、地域振興に大きく資する路線として、読谷第二次都市計画マスタープランなどにも構想路線として位置づけており、国や県が策定する道路に関する計画へも本路線を位置づけるよう要請等を行っている。

**問** 人権相談という内容上プライバシー保護のため、相談室が必要である。現在は沖繩市の相談室を利用することもあり、FMよみたんの空き部屋を人権擁護委員の相談室として活用できないか

**答** FMよみたんの使用し

村道、農道沿いの除草対策は

**問** 読谷村の南の玄関口でもある村道天木、水釜線沿い、特に比謝川大橋付近は雑草が繁茂している。村道古堅、渡具知線沿いの歩道も雑草が繁茂しており、児童生徒の通学路でもある。対策を望む。

**答** 村道水釜、大木線及び村道古堅、渡具知線の除草等については9月上旬に草刈り作業を実施している。

**問** 渡具知土地改良区内の幹線農道に国道58号嘉手納バイパスの道路用地、嘉手納国道出張所の資材置き場からススキとギンネムの木が生い茂って農道に覆いかぶさっている。生活道路で交通安全対策や環境美化の面からも早めの除草作業が必要と思うが、渡具知24番地1の国道嘉手納バイパスの道路用地から村道にススキとギンネムの木が生い茂

って村道に覆いかぶさっている。住宅地で、交通安全対策や環境美化の面からも、早目の除草作業が必要と思うが

**答** 南部国道事務所に問い合わせたところ、9月末日までに除草作業を予定しているとのことである。



嘉手納バイパス道路用地除草箇所



與那覇徳雄

JAおきなわ読谷支店前駐車場の陥没について

**問** 工事でマンホールは埋めたのか、撤去したのか  
**答** マンホールは崩落し機能しなかつたので撤去し良質材で埋め戻し復旧。

**問** 県道が陥没する危険性はないか

**答** 調査で空洞奥行きは端部は車道部の路肩にある排水側溝であり県道への影響は確認できなかった。歩道部の空洞について、良質材を用いて埋め戻しを行った。

**問** 陥没箇所の詳細は  
**答** 表面で50cm程度舗装が陥没、アスファルト舗装下で約3m四方が空洞化している。

**問** 以前、反対側読谷ガスセンター地下駐車場から大量の雨水等が流れた経緯があるが、陥没との関連性は

**問** 陥没した日時、対策は  
**答** 7月20日午後4時頃、ロープで囲い看板等を設置。

**答** 調査で流出の関連性は確認できなかった。最近の大雨等で駐車場からの雨水等の流出した経緯はない。

**問** 陥没した原因は何か  
**答** マンホールの一部が崩落し周辺の土砂が洗掘されマンホールに流入したこと、空洞化、陥没した。

**問** 陥没の関連性と県道の陥没の危険性を早急に調査する必要があるか

**問** アスファルトの厚さと流出した土砂は何トンか  
**答** 約5cm程度、土砂は概算で約48トン流出。

**答** 車道部側までの空洞化は見られないため、道路管理者の中部土木事務所としては、調査は考えてないとの回答であった。

**問** 地域周辺の水流調査を実施する考えはないか

**答** 今年度、村全域の既設水路の現況調査を実施する。

ルワーカー3年間実績は

**答** 25年9件、26年141件

27年398件、主な相談内容は、

経済支援、健康・医療、食

に関する事。



**地域支え合いとは**

**問** 支え合い活動状況は

**答** 見守り、対象者の情報交換、台風接近時の声かけ

実施、マップ作成活動。

**問** コミュニティソーシャ

ルワーカー2名配置計画は

**答** 平成32年までに増員し、

中学校区1名配置計画。

**問** コミュニティソーシャ

らどうか

**答** ご意見として伺う。

**問** コミュニティソーシャ

**問** 民生委員と地域包括支

援センターとの連携は

**答** 相談実績民生委員40件、

センター12件相談業務実施。

**読谷まつり**

**問** 5年間の来場者数は

**答** 平成23年7万2000人、

3万1000人、25年7万9300人

26年、11万2000人、27年9万

900人。

**問** 2日目午前、各字青年

会太鼓演武の披露はどうか

**答** 青年団協議会、関係す

る方々と相談。

**問** 数隻の小型進貢船を建

造し、観光産業の起爆剤とし

たらどうか

**答** ご意見として伺う。

**比謝川堰の進捗状況**



伊佐 眞武

**問** ①県企業局は、比謝川

堰を撤去する方針だが、そ

の工期はいつ頃か

**答** ①平成30年度から工事

を開始し、平成33年度完了

の予定。

**問** ②現在ある比謝川堰の撤去

により、水位変化など、周

辺環境に影響を及ぼすこと

は想定される。今後、比謝

川の管理者である沖縄県河

川課と調整の上検討してい

きたい。

**問** 比謝川堰撤去の前提と

なる新たな可動堰の設置場

所はどこか

**答** ①指定管理者の方とも

今後、可能かどうか協議し

ていきたい。

**答** ②さとうきびの収穫期が限

定されますので収穫期にイ

ベントとして開催できないか、

J A等関係機関と検討して

いく。



比謝川下流堰

**答** 現在ある長田川取水場

の少し上流に設置。増水す

れば開いて流し、増水がな

ければそのまま堰として利

用すると伺っている。

**地域推興センターにつ**

**問** ①建物の外周部分も飲

食スペースとして活用でき

ないか

**答** ①より活性化のために、昔

ながらの黒糖づくりを再現

してはどうか

**答** ③全国的にも健康意識が高

まっている。

**住宅リフォーム支援事業**

**問** 相談件数に対して実績

が少ない理由はなぜか

**答** 相談の多くが外壁の塗

装や防水工事、駐車場の改

修工事等であり、県の基準

に準じた村の補助対象にな

らない工事が住民ニーズと

してあった。

**村民の問い合わせや相談方法は**

**問** 村民がより気軽に迅速

に連絡する方法として、関

係機関の連絡先が分かる一

覧表が必要と思いますが、

その対応は

**答** 問い合わせ先等につい

てはホームページや広報、

電話帳にも掲載されており、

担当部署が分からない場合は、

役場の代表番号に電話いた

だければ関係課へ御案内し

ています。また民生・児童

委員の事務局や活動内容の

お知らせも10月に全戸配布

予定。

**問** 今年から県の補助対象が

外構工事や空家についても

適用されたことから、本村も

同様にしてはどうか

**答** 県が変更した部分を調

整し、次年度に向けて取り

組んでいきたい。



新城 昭彦

### 村道波平3号線について

**問** 中央残波線暫定開通後  
交通量調査はされたか

**答** 村道中央残波線の暫定  
開通後交通量調査は、県道  
6号線を含む5か所で行い、  
村道波平3号線の交通量調  
査は行っていない。

**問** 県道6号線交差点の交  
通量は

**答** 中央残波線から県道6  
号線へタッチする交通量が  
5千199台、中央残波線から  
高志保側に9千631台、交差  
点から都屋側が9千771台の  
交通量結果が出た。

**問** 村道波平3号線は歩行  
者や車の車両も多い、中央  
線や外側線が引かれてない  
状況を伺う

**答** 当該道路の確認をした  
ところ消えており、当該道

路は、村道中央残波線の暫  
定開通や沿線に商業施設が  
出来た事から交通量が増加  
していると思われれます。中  
央線及び外側線の引き直し  
を行いたい。

**問** 前回は、いつ頃線引き  
がされたか

**答** 供用開始が昭和60年1  
月の開通に合わせて外側線  
等々は引かれたと思う。

**問** 県道6号線と村道波平  
3号線の入り口交差点の幅  
員はどれくらいか

**答** 県道交差点部分の幅員  
は23メートルである。

**問** この交差点は、児童生  
徒の通学路になっており停  
止線と横断歩道の設置が必  
要である、早急に設置が出  
来ないか

**答** 横断歩道及び停止線の  
設置について、嘉手納警察  
署に確認をした。歩行者の  
利用者数や交通量等を勘案  
し沖縄県公安委員会が設置  
すると言つ。



県道6号線と村道3号線の間に早急な横断歩道の設置を！

### 前島地区

**問** 現在の進捗状況は

**答** 前島地区は、復帰先地  
公共施設整備事業として、  
平成22年度から平成27年度  
の6年間に整備を実施し、  
本年度の道路台帳作成をも  
つて事業完了となる。

**問** 地主の建築許可申請や  
建築が出来るのはいつ頃か

**答** 当該地区の良好な居住  
環境を確保するため、用途  
地域への編入について沖縄  
県と事前調整を平成28年8

月に終了した。今後、住民  
説明会広告・縦覧、公聴会  
などの都市計画法に定めら  
れた手続きを進め、用途決  
定後は、農地転用許可が見  
込める。

### 読谷村陸上競技場周 辺の環境は

**問** 村道親志く波平線側の  
正面門や歩道付近やトイレ  
周辺、正面玄関付近の草刈  
りは年何回行われているか

**答** 陸上競技場正面門周辺  
や正面玄関周辺は、年7回  
ほど草刈りをしている。ト  
イレ側は、年4回ほど草刈  
りをしている。

**問** 児童生徒が通学路とし  
て利用している、ハブの目  
撃情報を聞くが、ハブ対策  
は

**答** ハブの目撃情報は受け  
ていない、陸上競技場周辺  
など、人が歩く場所につい  
ては、出来るだけ草刈りを  
行い、道が見えるように努  
めている。



山内 政徳

### 生活困窮者自立支援 法

**問** 昨年4月に生活困窮者  
自立支援法が施行されました。  
どのような義務付けがあった  
か

**答** 義務づけはない。沖縄  
県の事業として実施。必須  
事業に住居確保給付金の支給  
任意事業として、就業準備  
支援事業、一時生活支援事業  
家計相談支援事業、学習支  
援事業がある。読谷村では、  
相談窓口として機能し、事  
案について本人の同意に基  
づき、沖縄県の「中部就職・  
生活支援パーソナルサポー  
トセンター」へつないでいる。

**問** 滋賀県野州市の取り組  
みが参考になると思う。生  
活相談室を設置する考えは  
ないか

**答** 生活相談室をすぐに設  
置することはできないが、  
関係課で情報を共有し、役  
割を分担することで困って  
いる方に対する支援が可能  
であると考ええる。

### 子供の貧困対策

**問** 本村の、子供の貧困の  
実態をどのように分析して  
いるか。保育所入所申請を  
参考にしてわかることはな  
いか

**答** 保育所入所申請を参考に、  
子供の貧困についての分析  
は行っていない。

**問** 就学援助を使いやすく  
するために自動申請はでき  
ないか

**答** 周知の方法や認定基準



の見直しを含め他市町村の事例等を参考に検討を進めていく。

**問** 子供の居場所、子供食堂の取り組みは

**答** 平成28年7月15日に一般社団法人「うちなーからはーい」と事務委託契約を締結して事業を実施している。子供食堂につきましては実施していない。

**問** 無料塾の実施はどうなっているのか

**答** 10月上旬の開設を目指している。委託業者はNPO法人エンカレッジ。場所は伊良皆310-1、読山スポーツ店の2階。

### シルバー人材センター

**問** 現在の事務所についてどう考えているか

**答** 移動も考えていきたい

**問** 機材等の要望もあると

思うが、どう考えているか

**答** 機材などについても、シルバー人材センターと協議の上、整備していきたい。



会員募集中の  
シルバー人材センター



知花 徳栄

### 宇座ビーチの利活用

**問** 昨年までと違い気軽に海浜で遊べなくなっているとの声が多く、村民等の利用者も減っていると思うが把握しているか

**答** 施設の維持管理については宇座自治会へ管理委託を行っており毎月報告書が提出されている。人数については特にならない

再 夏休みの20日間で村民は7名で村外の方や写真撮影の利用者が主であった。村民は非常に減っている。

**問** 村と県の読み易い看板は以前からあった。最近になつて自治会の大きな看板が目立つが、設置について村との協議もあったのか

**答** 看板設置についての報告はあったが、文言について

の協議はない。

**問** いつ頃の設置か

**答** 平成28年4月30日。

**問** 村としては、この文言を認めていないと理解していいか

**答** 委託契約に基づいて良好な環境を保つ、その為の一つの手段だという風に考えている。

**問** 管理責任者の村当局の今後のこのビーチの利活用の構想等の考えは

**答** これまで同様自由に使って頂きたい。但し、利用者のモラルやマナーを守り看板にある禁止項目を守ってほしい。

**問** 警備員の件についてそのまま継続となる。

**問** このビーチを利活用する村内の団体等には条件付きで利用させてはどうか。ルールづくりにも村民代表も加えてほしい

※海浜入り口の看板設置が必要と強く感じるが、どう

か

**答** 宇座自治会の意見も参考に今後の検討課題とさせて頂きたい。

**問** 駐車場整備の必要性もあると思うが、どうか

**答** 宇座自治会や関係課と意見交換を行っていく



宇座海岸に設置された看板

波平土地改良区沿いの自然豊かな景観の遺産としても保存していただきたく、合わせて背後地の長期に渡る遊休地地主の利益誘導も考え、国や県の補助事業導入の考えは

**答** 県に確認した所、海岸の浸食や高潮・波浪等による越波被害等が生じ、背後地である農地への被害が生じていけば事業導入ができる。現在被害状況の把握ができていないことから調査が必要

**提起** 事業導入で公共用地取得で非課税の優遇措置もあり得る。防風林・農道があり個人的には開発がむずかしい。地主等の要望があれば保全、自然保護の立場から先行取得で村有地にしてはどうか

渡慶次地内の交差点は(別添付)事故が多く通学路にもなっている。ストップライターの白線とカーブミラーの設置を要望

**答** 道路反射鏡の設置を検討する



上地利枝子

**残波岬公園遊具エリアについて**

**問** 乳幼児エリアに直射日光避けの屋根と周囲に屋根付ベンチの設置は出来ないか伺う

**答** 沖縄の夏場の太陽、すごい日差しだとは認識している。今後若干日差し除けをつくってあげた方がいいと思う。増設出来るか検討する。ベンチについては幾つか今後設置をしていこうと思っている。ベンチの屋根については向こうは木が多く木陰があるので屋根がついているベンチは想定していない。



屋根付ベンチの設置を望む

**問** そうすると長期的な計画になると思うが、当面の間セーラの森公園の運動場を利活用出来ないか伺う

**答** 現在、グラウンドにいては多目的ということになっているので老人のための専用ということ、位置づけができるか、意見を聞かないとわからないと思う。

行われている読谷まつり会場の機能を移転した後にゲートボール場の設置に向けて動き出すものと考えている。

**老人クラブ専用ゲートボール場設置の進捗状況**

**答** 運動施設ゾーン内のゲートボール場については、現在の野外スタンドの裏手にあるテニスコートの場所に計画されている。この場所にゲートボール場を設置するには、現在のテニスコートを移設し、運動広場で

**健康増進センターの運営状況は**

**問** 利用者の推移と今後の展開

**答** 平成27年度延べ利用者数7万4389人と年々増加傾向にある。今後の展開については、新たな取り組みとして、これまでのプログラム教室や診療所との連携によるPT教室に加え、モニターの

方を募集して、健康増進センターの職員と健康推進課の保健師栄養士が連携し各モニターの方の健康診査の結果と体組成成分測定の結果をもとに、健康相談、栄養相談を実施、個人に合った生活習慣面と食の面に対するアドバイスを行いながら、健康増進センターでのトレーニングメニューを作成し、より質の高い運動指導の提供や生活習慣病予防の意識づくりにつなげていけるのではないかと考えている。

**問** 健康増進センターの今後の展開として指定管理者の指定について村の方針を確認したい。

**答** 今までの実績を踏まえて、指定管理の方向で検討している最中である。



仲眞 朝雄

**喜名番所前村道の車止めに歩行者がつかずきけがを負ったり、車両が接触し事故がある。事故防止の対策を直ちに講じるべきでは**

**問** 各園の配置状況は

**答** 午前の体制は、各園6名体制。努力をしているが、学級担任を配置できていない園があり、現状では十分である。

**喜名のオートライフ沖縄、宮写真真館前の村道（旧国道）をレンタカーが国道に逆進入した件について事故防止の対応方法は**

**答** 英字表記の看板を2枚設置し視覚的な効果を図る。10月中に設置予定。本村の持つ観光地のイメージを低

下させないよう事故防止に取り組んでいきたい。

**問** 今後の課題は

**答** 嘱託職員の人材確保。引き続き募集を行っている状況にある。

**問** 学級担任嘱託職員の処遇についてどう思うか

**答** 正規職員と同じ職務内容。他の嘱託職員と違い責任感、負担感を感じていると考えられ、その課題解決が必要。

**問** 学級担任を配置できていない園の状況は





**答** 喜名幼稚園であるが教育支援員、特別支援員、副園長が、その学級をサポートしている。苦肉の策である。

**問** そういう事態が、他の園でも起こり得るか

**答** 否定できない。あり得ること考える。

**問** 危機的状況下の現場職員に対しての評価は

**答** 不十分な職員体制の中先生方が協力しながら頑張ってもらっている

**問** タイムカード設置の必要性はないか

**答** 職員の勤務状況の把握から有効な手段と考える。導入については、現場の職員等の意見を聞き検討したい。

**提起** 正規職員が一人もない時期があったというのは大変危惧すべき事態。職員不足解消は処遇改善からすべき。

一、囑託の学級担任に手当てを新設するなど目に見え改善を求める。

二、保護者などへ不安を与えないよう説明会は早めにおこなうべき

三、超過勤務の実態把握、給与計算等の負担軽減のためにもタイムレコーダーの早期導入を図るべき。



がんばる  
喜名幼稚園児!!

喜名小学校  
上間三秀校長 撮影

## 意見書・抗議決議

飲酒運転撲滅のさらなる推進に関する決議

第453回

可決

沖縄鉄軌道構想の「ルート案」決定に対する意見書

第453回

可決

米海兵隊のAV-8ハリアー戦闘攻撃機の墜落事故に対する抗議決議・意見書

第453回

可決

村内小・中学校の教職員ならびに児童・生徒が生き生きと活動できる環境の改善を求める陳情について

第453回

可決

# 第9回 村民との意見交換会及び議会報告会をおこないました

読谷村議会では、村民に開かれた議会の実現を目的とした「第9回村民との意見交換会及び議会報告会」をおこないました。

これは、村民に身近な議会の実現、村民参加の拡大などを主旨とする「読谷村議会基本条例」に則り開催しています。

今回は、趣を少し変更し、例年、村内の団地と自治会で行っていた会を、より専門的な意見を拝聴し、村内で活躍されている13の団体と行い、専門的かつ貴重な意見交換会をおこなう事が出来ました。

## 村民の意見を読谷村に提案！

1 村内の「飲酒運転」を撲滅する具体的な取組を求める！

(回答) 平成26年度に「飲酒運転根絶団体宣言」を嘉手納警察署に提出し、また平成28年9月20日の秋の交通安全運動出発式において「飲酒運転根絶に向けた協働行動に関する覚書」を締結し、飲酒運転根絶に向けた教育を徹底的に行うとともに、村民に対しても根絶活動の周知に努めていきます。

2 仮称「沖繩・読谷線道路」(嘉手納弾薬庫横断線)の早期開通を求める！

(回答) 当該道路は中部地区における東西間ネットワーク形成により観光・産業・緊急輸送体制など地域振興に大きく資する線路として、読谷村第2次都市計画マスタープランなどにも位置づけています。

3 屋内運動場とゲートボール場の早期建設を求める！

(回答) 屋内運動場については、早目の建設にむけて、努力していききたいと思えます。ゲートボール場については、現在の屋外スタンド裏のテニスコートがある場所に計画されていることから、テニスコートや屋外スタンドを移設した後、整備計画を予定しています。



『交通安全母の会』と読谷村議会議員による宣言！



読谷道路の早期開通を!! (中部国道事務所hpより)

4 「日本一人口の多い村」同様「文化村日本一」にするため、文化振興条例の制定を求める！

**(回答)** 本村では、文化継承を村の理念としており、施策においても文化振興課や生涯学習課を中心に事業が展開されています。

文化振興条例については、国の方針、沖縄県文化芸術振興条例の基本理念や施策と整合を図りながら策定されるべきものである。その範囲が多種多様で広範にわたることから、村民や関係者の意見を聞く等の調査や研究を進めていきたいと思えます。

5 保護司の担当している方の就労支援のための村内企業への協力体制を求める！

**(回答)** 那覇保護観察所が協力雇用主の募集や国の支援制度、奨励金の申請手続き等を行い、協力雇用主の確保に努めている。

今後、村として協力できることがあるか那覇保護観察所及び読谷村在住の保護司との意見交換を行うてまいります。

6 民生委員活動に行政とのなお一層の連携強化を求める！

**(回答)** 民生委員・児童委員活動に伴う個人情報提供、委員からの相談や情報提供を行う関係部署等の会議及び研修を開催してまいります。

7 村内5幼稚園の職員体制の改善を求める！

**(回答)** 現在勤務している嘱託職員の次年度希望調べを11月に行い、次年度の必要人員の確認を早期に実施し、次年度の募集要項を年明けからハローワーク、ホームページ、村の電光掲示板等を活用して公開し、人材リストを作成する。また、教育委員会と学校現場との連携を図り、人材発掘に更に取り組みます。

8 保護司会、人権擁護委員会等の拠点（事務所）の設置を求める！

**(回答)** 人権擁護委員は、人権週間時の特設人権相談所開設の場所を村で提供している。また、村内人権擁護委員の毎月定例会の場所も村で提供している。保護司も定例会や相談室の借用について対応していきます。



幼稚園での体験給食の風景



日本一の文化村に



屋根付きゲートボール場を!!

わが村の **そこが知りたい!**

# 読谷村 シルバー人材センター

本格的な高齢化社会を迎え自らの能力を活かし、社会参加と働くことに生きがいを求める高齢者が、読谷村においても増えている。

そのような中、就業の機会を提供し、生きがいづくりと社会参加を促進する組織が読谷村シルバー人材センターである。

前田善輝理事長、長浜功勇常務理事そして職員の高嘉朝克さんに話を伺った。

まず、拠点となる事務所は手狭で、今後トラックやダンパーカー等の機材が増えると車庫や倉庫も必要なので、将来的には引越したい考えだ。

また、個人宅の草刈り伐採、ホテル等の業務に加え村道10路線の維持管理委託業務(草刈り・清掃)、下水道接続普及促進業務(チラシ配布・戸別普及)も受注し、業績面で

も順調のようだ。課題として増大する業務に対応するため、会員数と就業率の拡大をあげた。

正会員とはいえ、一般と違い、時間的束縛などはなく、好きな時間に好きな職種で気軽に働けることである。

国、県、村当局の援助を受けながら、高齢者が自主的に運営し働くことで、自らの生きがいづくりと、本村のさらなる福祉向上と活力ある地域づくりを目指している活気あふれる読谷村シルバー人材センターである。

ほかにも、草刈り機やチェーンソー取扱講習会、シルバー傷害保険など各事業にも意欲的に取り組んでいる。

自らの経験、知識、能力を再度活かしてみたい方、まずはチャレンジしてみたい方がでしょうか。

多くの会員から「こういう声が寄せられている。

」やること、行くところ、そして仲間が増えた。できるかぎり頑張って続けていきたい」



前田理事長

長浜常務理事

## 議会だより編集室

この「議会だより」は、村議6名で構成する「議会広報調査特別委員会」によって編集しています。二年前に新メンバーでスタートした広報委員会も早いもので任期の半分が過ぎました。

私たち広報委員会は、全国広報研修会への参加や、広報クリニックスなどに積極的に参加し、読み手である村民目線を第一に読谷らしい地域に根ざした「読みやすく、手に取ってもらえるような」広報誌づくりを心がけて参ります。県内の町村議会での広報クリニックスにおいて、講師より「議会だより」の表紙を飾っている小学校児童による題字は、他の地域にはない素晴らしい事と称賛頂きました。このような読谷らしさを残しつつ、新しい事にも挑戦し、楽しい紙面づくりに委員全員で取り組んで行きます。



編集委員/左から  
神谷嘉栄、仲真朝雄、當間良史、上地 榮  
新城昭彦、比嘉幸雄

問い合わせ  
読谷村シルバー人材センター  
電話098-957-3390